

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

前年と同じ目的の事業については、前年の実績値を基準とすることもある
<p>【点数化】</p> <p>5点：各事業の参加人数が、それぞれ目標の参加人数の1.2倍以上のとき</p> <p>4点：各事業の参加人数が、それぞれ目標の参加人数を上回るとき</p> <p>3点：1つの事業の参加人数が目標の参加人数に達しないが、全ての事業の合計人数では目標を上回るとき</p> <p>2点：複数の事業の参加人数が目標の参加人数に達しないが、全ての事業の合計人数では目標を上回るとき</p> <p>1点：複数の事業の参加人数が目標の参加人数に達せず、また、全ての事業の合計人数でも目標を下回るとき</p>

各事業とも、利用者または利用者とその家族の参加を目的として実施している。利用者、家族のほか来賓地域住民が参加し目標を上回っている。

<p>【評価視点】 1 (1) ④</p> <p>サービスを向上させるための方策は達成しているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>サービスを向上させるための方策の達成÷サービスを向上させるための方策</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方策の達成は㊦からの報告を基にする ・方策は業務計画書及び㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」で、各方策において、前年度より特筆すべきサービス向上がみられたとき</p> <p>4点：算式結果が「1」で、各方策全てが前年度よりサービス向上したとき</p> <p>3点：算式結果が「1」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1未満」でも、前年度よりサービス向上したとき</p> <p>1点：算式結果が「1未満」で、前年度よりサービス低下したとき</p>	

利用者、保護者と個別に面談を行い関係性の向上に努めている。

<p>【評価視点】 1 (1) ⑤</p> <p>利用者等のニーズ把握を行っているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>①ニーズ把握調査回数</p> <p>②ニーズ把握数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握調査回数及び把握数は㊦からの報告を基にする 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「4点」の結果を満たし、かつ、ニーズ把握方法が、アンケート実施、手紙・メールを利用するとともに、障害者等へのニーズ把握配慮など、把握方法においても、特筆すべきものがあるとき</p> <p>4点：算式①結果が「2回以上」、かつ、②結果が「10個以上」のとき</p> <p>3点：算式①結果が「2回以上」、又は、②結果が「10個以上」のとき</p> <p>2点：算式①結果が「1回」、又は、②結果が「10個未満」のとき</p> <p>1点：①②未実施のとき</p>	

利用者、保護者と個別に面談を行い関係性の向上に努めている。

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>【評価視点】 1 (1) ⑥ 把握した利用者等のニーズの実現を図ったか？</p>	<p>【評価算式】 ニーズ実現数÷ニーズ実現可能数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ実現数は㊦からの報告を基にする ・ニーズ実現可能数は、㊦から報告を受けたニーズ把握数を基に、所管課により、実現可能なニーズを抽出する（ニーズとウォンツの振り分け） 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」、かつ、当該ニーズ提出者のみならず、全ての利用者等に対し、サービス向上に寄与するとき</p> <p>4点：算式結果が「1」のとき</p> <p>3点：算式結果が「0.8以上1未満」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0.4以上0.8未満」のとき</p> <p>1点：「2点」に満たないとき</p>	
<p>面談で得られたニーズを個別支援計画に反映させている。</p>	
<p>【評価視点】 1 (2) ① 利用者や地域との連携・協働を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 連携・協働事業回数の合計</p>
<p>【算式資料収集方法】 連携・協働事業回数は㊦からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「4点」の結果を満たし、かつ、連携等が広がりを見せていることが顕著なとき</p> <p>4点：算式結果が「2回以上」、かつ、利用者や地域との連携等が継続しているとき</p> <p>3点：算式結果が「1回」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0回」のとき</p> <p>1点：連携・協働事業を検討しなかったとき</p>	
<p>自主事業において、保護者や地域の参加を求め実施している。自主事業で3回実施</p>	
<p>【評価視点】 1 (3) ① 未解決の苦情等があり、解決の目途がついているのか？</p>	<p>【評価算式】 未解決苦情等数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・未解決苦情等数は㊦からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」、かつ、全ての苦情について円満な解決が図られ、かつ、特筆すべき方法により、自ら積極的に苦情等を発信しない人々へのアプローチも行っているとき</p> <p>4点：算式結果が「0」、かつ、全ての苦情について円満な解決が図られているとき</p> <p>3点：算式結果が「0」ではないが、すべての苦情について円満な解決が図られる見込みがあるとき</p> <p>2点：苦情について円満な解決が図られる見通しが不明なものがあるとき</p> <p>1点：意思疎通にかけ、苦情解決の糸口が見出せないものがあるとき</p>	
<p>未解決苦情 0件</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>【評価視点】 1 (4) ① 特定の市民・団体に対して、条例や規則での規定事項以外で対応したことがあるか？</p>	<p>【評価算式】 サービスの提供に関して条例・規則以外での対応回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況について㊦からの報告を基にする ・㊦に対して、聴き取り調査を行う ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」、かつ、条例・規則の範囲内での新たなサービス向上が図られたとき</p> <p>4点：算式結果が「0」、かつ、条例・規則の範囲内での工夫が見受けられるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき、又は、算式結果が「0」ではないが、事前に市に対して照会・連絡を行っているとき</p> <p>2点：算式結果が「0」ではなく、事後に市に対して報告・連絡を行っているとき</p> <p>1点：算式結果が「0」ではなく、市に対しても報告・連絡を怠っているとき</p>	
<p>対応実績 0件</p>	

<p>【評価視点】 2 (1) ① 経費節減の取組みを実施しているか？</p>	<p>【評価算式】 経費節減のための取組みの方策の実施÷経費節減のための取組みの方策</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方策の実施は㊦からの報告を基にする ・方策は業務計画書及び㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」で、すべての方策において、特筆すべき取組みが見受けられたとき</p> <p>4点：算式結果が「1」で、特筆すべき取組みが見受けられたとき</p> <p>3点：算式結果が「1」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1未満」でも、経費節減のための取組みが見受けられたとき</p> <p>1点：算式結果が「1未満」のとき</p>	
<p>照明等の適正利用、4R活動の実施により削減に努めている。</p>	

<p>【評価視点】 2 (1) ② 経費節減の効果が現れているか？</p>	<p>【評価算式】 当該年度の経費節減のための取組みの方策を受けた経費と前年との経費の比較</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計、及び、各方策の経費が、前年、及びの経費の合計、及び、すべての各方策の経費を下回ったとき</p> <p>4点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、前年の経費を下回ったとき</p> <p>3点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、前年の経費を下回ったとき</p> <p>2点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、前年の経費を上回ったとき</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

1点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、特段の理由もなく、前年の経費を上回り、かつ、各方策の経費のうち、半分以上の方策の経費が、前年の経費を上回ったとき

ほぼ前年並み

【評価視点】 2（1）③ 施設全体として、前年度より経費が縮減されているか？	【評価算式】 全ての経費と前年度の経費の比較
---	---------------------------

【算式資料収集方法】

・経費の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする

【点数化】

- 5点：経費の合計が前年度の経費の95%以下のとき
 4点：経費の合計が前年度の経費の98%以下のとき
 3点：経費の合計が前年度の経費の98%～100%のとき
 2点：経費の合計が前年度の経費の100%を越え、120%までのとき
 1点：経費の合計が前年度の120%を越えるとき

H29 委託料 18,434,000－返還額 2,712,076＝経費額 15,721,924

H30 委託料 15,203,000－返還額 269,964 ＝経費額 14,933,036 H29 経費の95%14,935,827

【評価視点】 2（2）① 収支計画の金額以内で適切に支出されているか？	【評価算式】 実際にかかった経費と事業計画書の収支計画との比較
--	------------------------------------

【算式資料収集方法】

・経費の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする

【点数化】

- 5点：経費の支出が収支計画の金額以内で項目に則って行われており、かつ、すべての支出項目が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき
 4点：経費の支出が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われており、かつ、事業費が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき
 3点：経費の支出が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき
 2点：経費の支出が収支計画の金額を越え、又は、項目に則らず行われているとき（流用含む）
 1点：経費の支出が収支計画の金額を越え、又は、項目に則らず行われているとき（流用含まない）

ほぼ前年並み

【評価視点】 3（1）① 施設の利用人数は？	【評価算式】 当該年度の利用人数と前年、又は、H24の利用人数の比較
---------------------------	---------------------------------------

【算式資料収集方法】

・利用人数は㊦からの報告を基にする

【点数化】

- 5点：当該年度の利用人数が前年の利用人数の110%を超えるとき
 4点：当該年度の利用人数が前年の利用人数の100%を超えるとき
 3点：当該年度の利用人数が前年の利用人数の90～100%のとき
 2点：当該年度の利用人数が前年の利用人数の90%を下回るとき

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

1点：当該年度の利用人数が前年の利用人数の80%を下回るとき 利用実績 11名 前年並みの利用状況	
【評価視点】3(1)② 施設の稼働率は？	【評価算式】 当該年度の稼働率と前年の稼働率の比較
【算定資料収集方法】 ・稼働率は④からの報告を基にする。	
【点数化】 5点：当該年度の稼働率が前年の稼働率の110%を超えるとき 4点：当該年度の稼働率が前年の稼働率の105%を超えるとき 3点：当該年度の稼働率が前年の稼働率の100%を超えるとき 2点：当該年度の稼働率が前年の稼働率の100%を下回るとき 1点：当該年度の稼働率が前年の稼働率の90%を下回るとき 前年と同様	
【評価視点】3(1)③ 利用の許可、停止、許可の取消し等を条例や仕様書等に基づき行っているか？	【評価算式】 管理に関して条例・仕様書等以外での対応回数
【算定資料収集方法】 ・管理状況について④からの報告を基にする ・実地調査を行う ・④に対して、聴き取り調査を行う	
【点数化】 5点：算式結果が「0」、かつ、条例・仕様書等の範囲内での新たなサービス向上が図られたとき 4点：算式結果が「0」、かつ、条例・仕様書等の範囲内での工夫が見受けられるとき 3点：算式結果が「0」のとき、又は、算式結果が「0」ではないが、事前に市に対して照会・連絡を行っているとき 2点：算式結果が「0」ではなく、事後に市に対して報告・連絡を行っているとき 1点：算式結果が「0」ではなく、市に対しても報告・連絡を怠っているとき 仕様書以外での対応 0件	
【評価視点】3(1)④ 利用の許可を拒み、取消し、停止させた者について、その記録を作成し、速やかに報告したか？	【評価算式】 利用を拒否等したもののうち、記録の作成・報告しなかった回数
【算定資料収集方法】 ・利用拒否等及び記録の作成については④からの報告を基にする ・報告については、実際に受けた報告の回数を基にする	
【点数化】利用の拒否等があった場合が前提となる 5点：算式結果が「0」であり、記録の作成が詳細になされ、速やかに報告され、かつ、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、記録の作成が詳細になされ、速やかに報告されているとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

1点：記録の作成がされておらず、算式にあてはめることもできないとき 実績なし	
【評価視点】 3（1）⑤ 利用申請書どおりに利用していることについて確認を行っているか？	【評価算式】 利用者が利用している間中、管理者職員（委託された者を含む）が常駐していない回数
【算定資料収集方法】 ・管理内容について④からの報告を基にする ・実地調査を行う	
【点数化】 5点：4点の結果を満たし、トラブル回避を図っているとき 4点：算式結果が「0」であり複数の管理者で状況を確認している 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1以上3以下」のとき 1点：算式結果が「4以上」のとき 常駐しない回数 0件	
【評価視点】 3（2）① 利用者に対し適切に利用料金を収受しているか？	【評価算式】 利用料金を過大・過少に徴収している回数
【算定資料収集方法】 ・利用者数と利用料金について④からの報告を基にする	
【点数化】（利用料金を使用料金に読み替える） 5点：算式結果が「0」のとき（減免方法等も適切な事務手順の基づき決定していること） 4点：算式結果が「0」であるが、納入時期・方法・減免方法等が条例・規則等との乖離が見られるとき 3点：算式結果が「1」以上「5」以下のとき 2点：算式結果が「6」以上 1点：算式結果が「6」以上で利用者に著しく影響があったとき 該当なし（無料施設）	
【評価視点】 3（2）② 収支計画どおりに利用料金収入があるか？	【評価算式】 利用料金収入と事業計画書の収支計画との比較
【算式資料収集方法】（利用料金を使用料金に読み替える） ・利用料金の確認は事業計画書と④からの報告を基にする	
【点数化】 5点：「4点」の事項を満たし、施設利用料金収入と事業収入の合計金額が、前年度の105%以上のとき 4点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額以上の収入があり、かつ、それぞれの項目についても収支計画の金額以上の収入があるとき 3点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額以上の収入があるとき、又は利用料金の収入を含めないとき 2点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額に満たないとき 1点：施設利用料金収入及び事業収入のそれぞれの金額が収支計画のそれぞれの項目の金額に満たないとき 該当なし（無料施設）	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>【評価視点】 3 (2) ③ 利用申請時間外の利用について、適切に利用料金を収受しているか？</p>	<p>【評価算式】 利用時間外（超過時間）の利用について、適切に利用料金の収受を行っていない回数</p>
<p>【算式資料収集方法】（利用料金を使用料金に読み替える）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請時間外の利用及び適切な利用料金の収受については④からの報告を基にする ・申請時間外の利用については実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、トラブルが未然に防ぐことができたとき</p> <p>4点：算式結果が「0」のとき</p> <p>3点：算式結果が「0」であるが迅速な報告ができなかったとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p>	
<p>該当なし（無料施設）</p>	

<p>【評価視点】 3 (3) ① 休館日及び利用時間、利用料金（減免制度含む）を、見やすい場所に掲示、又は、備付け等しているか？</p>	<p>【評価算式】 掲示、又は、備付け等していない事項</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「4点」の結果を満たし、トラブルが未然に防げたとき</p> <p>4点：全ての事項について、掲示、及び、備付けしているとき</p> <p>3点：全ての事項について、掲示、又は、備付けしているとき</p> <p>2点：一部の事項について、掲示、又は、備付けしているとき</p> <p>1点：掲示、又は、備付けがないとき</p>	
<p>備え付けしていない件数 0件</p>	

<p>【評価視点】 3 (3) ② 受動喫煙を防止する措置を講じているか？</p>	<p>【評価算式】 受動喫煙防止措置を講じているが、防止の効果が現れていない状況</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切なく、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切なく、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切ないとき</p> <p>2点：受動喫煙の防止措置を行ったが、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが生じるとき</p> <p>1点：受動喫煙の防止を講じていないとき、又は、「2点」の状況について改善が見受けられないとき</p>	
<p>全面禁煙</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>【評価視点】 3 (3) ③ 施設及び設備について定期的に保守点検を行い、その記録を作成しているか？</p>	<p>【評価算式】 ①記録未作成回数 ②保守点検不備による事故発生件数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・記録表等については④からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」のとき 2点：定期的に保守点検を行っているが、算式①結果が「0」でなく、②結果が「0」のとき 1点：定期的に保守点検を行っていないとき、かつ、算式①・②結果が「0」でないとき</p>	
<p>実施済</p>	

<p>【評価視点】 3 (3) ④ 施設、設備、物品の維持管理を適切に行い、必要な修繕を速やかに行っているか？</p>	<p>【評価算式】 修繕不備による事故発生件数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・事故発生件数については④からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、常時確認と速やかに修繕が行なわれているとき 4点：算式結果が「0」であり速やかに修繕が行なわれている 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」であるが、実地調査により必要な修繕が実施されていないとき 1点：算式結果が「0」でないとき</p>	
<p>修繕実施済</p>	

<p>【評価視点】 3 (3) ⑤ 施設、設備、物品を滅失し、又は施設、設備、又は物品の重要な箇所を毀損したときは速やかに報告しているか？</p>	<p>【評価算式】 速やかな報告を実施していない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・報告については④からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、速やかに報告および修繕などの対応が行なわれているとき 4点：算式結果が「0」であり、速やかな報告がされているとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、実地調査により滅失等への対応が施されていると確認できるとき 1点：算式結果が「0」でなく、かつ、実地調査により滅失等への対応が施されていないと確認できるとき</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

報告していない件数 0件

<p>【評価視点】 3（3）⑥ 建物の改築、構築物の新設等、機械装置の新設等の現状変更をしようとするときは、予め協議し、又は承認を受けているか？</p>	<p>【評価算式】 予め協議し、又は、承認を受けていない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認については㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、速やかな対応と準備がされているとき 4点：算式結果が「0」であり、速やかな対応があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、必要不可欠な変更と見受けられるとき 1点：算式結果が「0」でなく、不必要な変更と見受けられるとき</p> <p>該当実績なし</p>	
<p>【評価視点】 3（3）⑦ 管理施設の修繕・改築において、1件につき見積額50万円（消費税及び地方消費税を含む）未満のものについては指定管理者の費用と責任において実施したか？</p>	<p>【評価算式】 費用及び責任における未実施回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施については㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、速やかに報告および修繕などの対応が行なわれているとき 4点：算式結果が「0」であり、速やかな報告がされているとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、必要不可欠な実施と見受けられるとき 1点：算式結果が「0」でなく、不必要な実施と見受けられるとき</p> <p>該当実績なし</p>	
<p>【評価視点】 3（3）⑧ 指定管理者は、故意又は過失により備品等（I種）を毀損滅失した時は、市と協議し、必要に応じて市に対しこれを弁償又は自己の費用で当該物と同等の機能及び価値を有するものを購入又は調達したか？</p>	<p>【評価算式】 弁償又は購入、あるいは調達していない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、速やかに報告および修繕などの対応が行なわれているとき 4点：算式結果が「0」であり、速やかな報告がされているとき</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0を越え2以内」のとき</p> <p>1点：算式結果が「3以上」のとき</p>

該当実績なし

<p>【評価視点】 3（3）⑨ 管理にあたっての準備行為や清算行為等の引継ぎを適切に行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①不適切な準備行為回数 ②不適切な清算行為回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については⑨からの報告を基にする ・実地調査を行う ・聴き取り調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式①・②結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式①・②結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式①・②結果が「0」のとき 2点：算式①・②結果が「0」でないが、円滑なサービス提供ができ、かつ、利用者等に影響を与えないと見受けられるとき 1点：算式①・②結果が「0」でなく、円滑なサービス提供ができず、又は、利用者等に影響を与えたと見受けられるとき</p>	

実績なし

<p>【評価視点】 3（4）① 臨時に管理施設の休館日を定める場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については⑨からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、利用者への周知も徹底しトラブルが回避できたとき 4点：算式結果が「0」であり、利用者への影響が最小限に抑えられたとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」であるが、利用者へ周知ができなかったとき 1点：算式結果が「1以上」のとき</p>	

臨時休館実績なし

<p>【評価視点】 3（4）② 施設等の利用時間を変更する場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については⑨からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、利用者への周知も徹底しトラブルが回避できたとき 4点：算式結果が「0」であり、利用者への影響が最小限に抑えられたとき</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

3点：算式結果が「0」のとき
2点：算式結果が「0」であるが、利用者へ周知ができなかったとき
1点：算式結果が「1以上」のとき

延長実績なし

【評価視点】 3（4）③ 施設等を引き続いて利用することができる期間を変更する場合、承認を受けたか？	【評価算式】 承認を受けない回数
---	---------------------

【算定資料収集方法】

- ・把握については㊦からの報告を基にする

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、利用者への周知も徹底しトラブルが回避できたとき
- 4点：算式結果が「0」であり、利用者への影響が最小限に抑えられたとき
- 3点：算式結果が「0」のとき
- 2点：算式結果が「0」であるが、利用者へ周知ができなかったとき
- 1点：算式結果が「1以上」のとき

変更実績なし

【評価視点】 3（5）① 指定管理業務に係る会計処理を、他の事業と区分して経理しているか？	【評価算式】 経理していない状況
--	---------------------

【算定資料収集方法】

- ・把握については㊦からの報告を基にする

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、参考書類等もすべて整理されているとき
- 4点：算式結果が「0」であり、参考書類等がおおむね整理されているとき
- 3点：算式結果が「0」のとき
- 2点：算式結果が「0」でないが、市からの指導により速やかに適正な処理を行ったとき
- 1点：算式結果が「0」でなく、市が指導しても、適正な処理が不可能なとき

区分して経理され、書類も整理されている。

【評価視点】 3（5）② 指定管理業務に係る会計書類を、各会計年度の終了後、5年間保存しているか？	【評価算式】 会計書類の紛失・不明枚数
--	------------------------

【算定資料収集方法】

- ・把握については㊦からの報告を基にする
- ・実地調査を行う

【点数化】

- 5点：算式結果が「0」であり、参考書類等もすべて保存されているとき
- 4点：算式結果が「0」であり、参考書類等がおおむね保存されているとき
- 3点：算式結果が「0」のとき
- 2点：算式結果が「0」でないが、市からの指導により速やかに適正な処理を行ったとき
- 1点：算式結果が「0」でなく、市が指導しても、適正な処理が不可能なとき

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>実績なし</p> <p>【評価視点】 3（6）①</p> <p>指定管理業務を通じて取得した個人情報を、行田市個人情報保護条例等及び個人情報取扱特記事項、財団個人情報保護規程に基づき適正に取り扱っているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <p>・把握については⑩からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、指定管理者の迅速な対応にてトラブルが回避できたとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であるが、トラブルが発生し、市の協力で解消できたとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1」のとき</p> <p>1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>実績なし</p>	
<p>【評価視点】 3（6）②</p> <p>指定管理者が、行田市情報公開条例等及び財団情報公開規程を遵守し、情報の公開及び提供について積極的に努めているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <p>・把握については⑩からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、常に市と連携が図られているとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であるが速やかな報告があった場合</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」であるが市への報告がされなかったとき</p> <p>1点：算式結果が「1以上」のとき</p>	
<p>不適正実績なし</p>	
<p>【評価視点】 3（6）③</p> <p>関係する法令、条例及び規則を遵守し、適正に運営を行っているか（前記以外のもの）？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <p>・把握については⑩からの報告を基にする</p> <p>・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、常に市と連携が図られているとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であるが速やかな報告があった場合</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」であるが市への報告がされなかったとき</p> <p>1点：算式結果が「1以上」のとき</p>	
<p>不適正実績なし</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>【評価視点】 3（6）④ 管理運営に必要となる資格をもつ人員が配置されているか？</p>	<p>【評価算式】 配置されるべき有資格者が配置されていない数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については④からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>適正に配置</p>	

<p>【評価視点】 3（6）⑤ 職員の研修を研修計画にしたがって行っているか？</p>	<p>【評価算式】 研修実施数－職員の研修計画数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修実施数は④からの報告を基にする ・研修計画は業務計画書を基にする <p>* 研修計画はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の研修については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「3点」の結果を満たし、かつ、研修成果の度合いが2事業以上、特筆すべきものがあるとき 4点：「3点」の結果を満たし、かつ、研修成果の度合いが1事業でも特筆すべきものがあるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「△1、又は、△2」のとき 1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	
<p>社会福祉協議会計画に基づき計画通り実施</p>	

<p>【評価視点】 3（6）⑥ 管理内容や管理方法が計画書記載どおりに行っているか？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については事業計画書と④からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>不適正実績なし</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

<p>【評価視点】 3（6）⑦ 利用者のトラブルの未然防止策を検討し、対処方法が適切に行われているか？</p>	<p>【評価算式】 トラブルの対処方法数－事業計画書の未然防止策の検討数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止策の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき</p>	

該当するトラブルなし

<p>【評価視点】 3（6）⑧ 事故・火災への対策を講じているか？</p>	<p>【評価算式】 事故、火災への対策数－事業計画書の事故、火災への対策数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき</p>	

対策数2－対応数2＝0

<p>【評価視点】 3（6）⑨ 防犯対策を講じているか？</p>	<p>【評価算式】 防犯対策数－事業計画書の防犯対策数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき</p>	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

1点：把握をしていないとき	
実施済	
【評価視点】 3（6）⑩ 衛生対策を講じているか？	【評価算式】 衛生対策数－事業計画書の衛生対策数
【算定資料収集方法】 ・対策数の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う *対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき	
実施済	
【評価視点】 3（6）⑪ 事前に市の承諾を受けずに、本業務の一部を第三者に委託し、又は請け負わせているか？	【評価算式】 承認を受けない回数
【算定資料収集方法】 ・把握については㊦からの報告を基にする	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、速やかな対応によりトラブルを回避できたとき 4点：算式結果が「0」であるが、調整に時間がかかったとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」であるが市から指導を受けたとき 1点：算式結果が「1以上」のとき	
該当無し	
【評価視点】 4（1）① 施設又は施設利用者に災害が生じたとき、あるいは、本業務の実施に関連して事故や災害等の緊急事態が発生した場合、速やかに必要な措置を講じるとともに、市を含む関係者に対して緊急事態の発生を旨を通報・連絡したか？	【評価算式】 通報・連絡しなかった回数
【算定資料収集方法】 ・把握については㊦からの報告を基にする	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき

該当なし

【評価視点】4（1）② 事故等が発生した場合、市と協力して事故等の原因調査にあたったか？	【評価算式】 事故等の原因調査に協力しなかった回数
---	------------------------------

【算定資料収集方法】 ・把握については⑩からの報告を基にする

【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき
--

該当なし

【評価視点】4（1）③ 不可抗力が発生した場合、不可抗力の影響を早期に除去すべく早急に対応措置をとり、不可抗力により発生する損害・損失及び増加費用を最小限にするよう努めたか？	【評価算式】 早急に対応措置をとらなかった回数
--	----------------------------

【算定資料収集方法】 ・把握については⑩からの報告を基にする

【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき
--

該当なし

【評価視点】4（2）① 自動販売機及び公衆電話等の設置など、目的外使用にあたっては、予め市と協議するとともに承認を得たか？	【評価算式】 予め協議し、及び、承認を得なかった回数
--	-------------------------------

【算定資料収集方法】 ・把握については⑩からの報告を基にする ・実地調査を行う

【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき
--

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき 該当なし
--

【評価視点】4（3）① 緊急時等の対策を実施しているか？	【評価算式】 緊急時対策数－事業計画書の緊急時対策数
【算定資料収集方法】 ・対策数の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする ・実地調査を行う *対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき 連絡網、防災訓練の実施	

【評価視点】4（4）① 自己評価制度を実施し、改善に繋げているか？	【評価算式】 自己評価制度実施数－事業計画書の自己評価制度実施数
【算定資料収集方法】 ・実施数の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする *実施数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の実施については、前年の実績値を基準とすることもある	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき 実施済	

【評価視点】5（1）① 指定管理者の経営状況は良好か？	【評価算式】 経営状況の不安要素数
【算定資料収集方法】 ・要素数数の確認は収支（損益）計算書、貸借対照表、財産目録等を基にする	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき	

評価基準・根拠（障害者福祉センター）

1点：把握をしていないとき 不安要素該当なし	
【評価視点】 5（2）① 本業務の実施に必要な資格者及び人材を確保し、必要な研修等を行っているか？	【評価算式】 人材確保及び必要な研修等の実施と事業計画書の人材確保及び必要な研修等との比較
【算定資料収集方法】 ・人材の確保と研修等の実施の確認は事業計画書と㊦からの報告を基にする	
【点数化】 5点：収支計画書の予算の範囲内で、管理運営に支障がない体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行され、特筆すべき事項があると見受けられるとき	
4点：収支計画書の予算の範囲内で、管理運営に支障がない体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行されているとき	
3点：概ね計画どおりの管理執行体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行されているとき	
2点：収支計画書の予算の範囲を越え、概ね計画どおりの管理執行体制が確保され、又は、職員研修が計画どおりに遂行されていないとき	
1点：管理執行体制の不備により、管理運営に支障が見られ、又は、職員研修が計画どおりに遂行されていないとき	
計画通り人員配置済	